

箕面の生活が豊かに、まちが元気になります!!

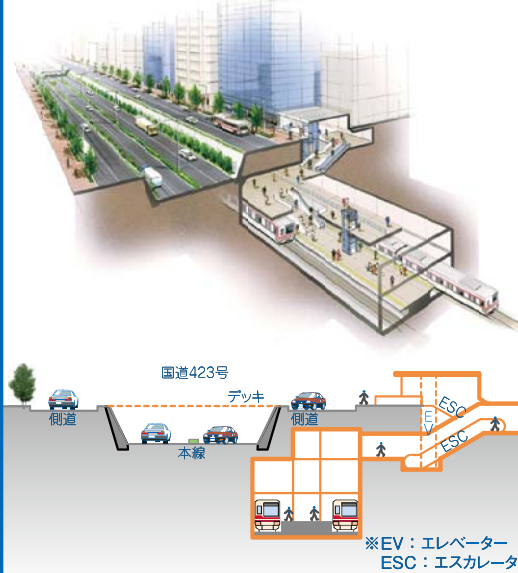
～整備計画（案）～

平成20、21年度において、北大阪急行延伸線検討委員会（学識経験者、国、大阪府、箕面市、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱、その他関係鉄道事業者）を組織し、整備計画案をまとめました。平成22年度からは、事業化に係る大阪府、市、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱で、関係者会議を組織して、整備計画案の精査を実施しています。

北急延伸計画の概要

延伸距離	約2.5km
新駅	箕面船場駅（地下駅） 新箕面駅（高架駅）
建設事業費	420億円 ⇒縮減に向け 精査中
需要予測	5万1千人 ⇒精査中 （市民の交通行動、利用意向 を踏まえた検証が必要）
運賃	初乗り運賃：140円～150円 （新箕面駅～梅田駅： 450円～460円） ※低廉化に向け検討中

大阪船場繊維卸商団地内に新駅を設置 （仮称）箕面船場駅 イメージ図



かやの中央地区に新駅を設置 （仮称）新箕面駅 イメージ図



広域交通拠点の形成

千里中央に集中していた広域交通拠点機能をかやの中央地区が分担することにより、千里中央地区においても交通結節機能が改善・向上し、両地区を合わせ広域交通拠点が形成されます。



（仮称）新箕面駅を中心としたバス路線網に再編して、市内バス交通の大幅な充実をはかります。

交通結節点の整備



駐輪場の整備



駅に自転車でも
行けるようになるぞ！



滝ノ道ゆずる

広域都市拠点の形成

千里中央に集中していた人の流れが、北大阪急行線の延伸により船場団地やかやの中央にも拡大して人々の交流が活発となり、千里中央・船場団地・かやの中央の一連の都市拠点が一体化し、新たな魅力を有した北大阪地域の一大都市拠点が形成されます。

まちの魅力が向上



みどり豊かな住宅都市に交通アクセスの良さと商業施設の充実が加わり、市全域において「住宅都市」としての価値を大きく高めます。

箕面市がきれいに
そして便利に
なるね～



モミジヌ

アクセス道路の整備



船場地区の再生



～整備効果～

新箕面駅を中心に市内のバス移動が便利になります！

バス路線網再編・・・市内東西方向の移動など市内バス交通が大幅に充実

自動車から出るCO₂を減らせます！

CO₂削減量・・・東京ドーム約232個分の面積を持つ森林が1年間に吸収するCO₂の量に相当

大阪都心部に早く行けます！

時間短縮・・・新箕面駅から新大阪駅、梅田駅、なんば駅まで乗り換えなしで12分短縮することができ、通勤、通学、買物が便利に

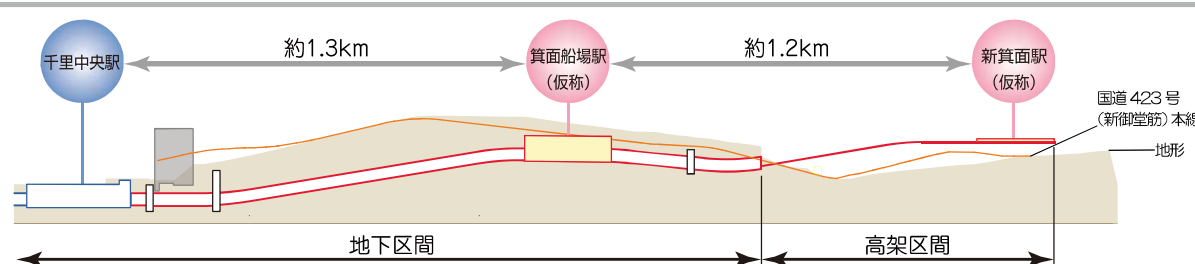
まちの魅力が向上します！

定住人口・・・沿線の人口が約13%（約1,700人）増加
商業施設・・・沿線の商業施設が約5%（11,900㎡）増加

まちが元気になります！

経済効果：新箕面駅周辺（かやの中央）・・・約73億円／年
箕面船場駅周辺（船場団地）・・・約43億円／年
沿線の商業施設の増加・・・約118億円／年
合計約234億円／年

延伸部分の断面図



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平21近複、第50号）